



# 平田ロータリークラブ 週報 ~ No. 2193 (令和 2 年 11 月 12 日)



2020-2021 年度

国際ロータリー会長 / ホルガー・クナーク  
2690地区ガバナー / 菊池 捷男

## ■平田ロータリークラブ 事務局

〒691-0001 島根県出雲市平田町 2280-1 平田商工会議所 2F  
TEL : 0853-63-3232 / FAX : 63-5365

URL : <http://hirata-rotary.jp/> Mail : [office@hirata-rotary.jp](mailto:office@hirata-rotary.jp)

9:00 ~ 17:00 (土・日曜・祝日 休局)

ロータリーは機会の扉を開く

会長 / 釜屋 治男 副会長 / 堀江 卓男  
幹事 / 原 泰久 会計 / 榎野 良文

## ■例会プログラム

例会日	卓話者	演題
11月12日	会員 清原 正幸	自動車の歴史
11月19日	会員 土江 光二	会員スピーチ
11月26日	一畑薬師	職場訪問例会
12月3日	ホテル ほり江 18:30~	忘年例会

## ■出席報告

会員数	出席者数	欠席者数	出席率
40	30	10 (4)	83.33 %

## ■欠席者

来間・飯塚詔・飯塚俊・大谷良・堀江／園山  
(牧野／伊藤／河原／大谷厚)

## ■来訪者

11/5 石飛・曾田・松本・陰山・浅津・竹内(出雲南)  
佐藤(出雲中央)  
堀江・中田・溝本(松江しんじ湖)

## ■メイクアップ

11/5 福田(松江東)

\*\*\*\*\*

## ■次回例会受付当番

(11月19日) 大島卓爾／杉原朋之／高砂明弘

(11月26日) 大島淳司／田中浩史／土江光二

## ■近隣クラブ例会情報 (メイクアップを考えましょう)

月	出雲中央	12/21	12/28(-)	松江南	12/21	12/28
火	出雲	12/15	12/1・29(-)	松江しんじ湖	11/24	12/8 12/22 12/29
水	大社	11/25・12/30(-)	12/9	松江	11/25	12/16 12/23 12/30
木		(-) ; ビジター受付 なし		松江東	12/24	12/31
金	出雲南	12/18	12/25(-)			

## ■会長挨拶

平高協働発表会と後援団体(コンソーシアム)会議が平田で開催されます。  
11月17日(火)平田高校において、私と堀江副会長、原幹事が参加します。

参加者は、全校生徒、教職員、15の後援団体、運営指導委員で行われます。

なお、保護者や一般参加者はありません。

2年生の地域協働学習による班別探求活動の成果発表が各教室であります。

内容は ☆地域ブランドの創出 ~出雲産あずきの普及~

☆多文化共生社会の推進

~外国人・日本人がともに住みやすい街づくり~

☆ファン人口・交流人口の増加策

~木綿街道の活性化・本町商店街の活性化~

~一畑電車を活用した地域活性化・空き家の再生~

観客は移動をし、関係者等も各教室を見学します。

地元の高校生の視点による新鮮な成果発表が行われることを楽しみにしています。

その後、講師 コミュニティデザイナー 山崎 亮 氏が基調講演をされる予定です。

## ■幹事報告

1. ロータリーレートの変更 11/1より 1ドル 104円 (現行 105円)

2. 例会変更

○ 出雲 RC 12/15(火) 忘年家族会 ニューウェルシティ出雲

ビジター受付 11:30 ~ 12:30 ホテル武志山荘

○ 大社 RC 12/9(水) 忘年例会 ゆたか亭

ビジター受付 11:30 ~ 12:30 事務局

○ 出雲南 RC 12/18(金) 夜の例会

ビジター受付 11:30 ~ 12:30 事務局

○ 出雲中央 RC 12/21(月) 家族同伴忘年例会

ビジター受付 11:30 ~ 12:30 事務局

○ 松江 RC 12/16(水) 夜間例会(家族忘年会)

ビジター受付 11:30 ~ 12:30 なにわー水

○ 松江南 RC 12/21(月) 夜間例会(年忘れ家族会)

ビジター受付 12:00 ~ 12:30 松江エクセルホテル東急

3. 休 会

○ 出雲 RC 12/1・29(火) 定款により ビジター受付 なし

○ 大社 RC 12/30(水) " "

○ 出雲南 RC 12/25(金) " "

○ 出雲中央 RC 12/28(月) " "

○ 松江 RC 12/23・30(水) "

ビジター受付 11:30 ~ 12:30 なにわー水

○ 松江東 RC 12/24・31(木) 定款により

ビジター受付 12/24のみ 12:00 ~ 12:30 松平閣

○ 松江南 RC 12/28(月) 定款により

ビジター受付 12:00 ~ 12:30 松江エクセルホテル東急

○ 松江しんじ湖 RC 12/8・22・29(火) 定款により

ビジター受付 12:00 ~ 12:30 すいてんかく

4. ロータリーの友 事務局より

10月同様、職員は時差出勤と在宅勤務併用で業務

## ■委員会報告

出席親睦委員会 : 11月の会員誕生・伴侶誕生・結婚記念祝い



- 情報・雑誌委員会 : ロータリーの友 11月号の紹介
- 職業奉仕委員会 : 11/26 職場訪問例会開催について  
詳細は後日お知らせ
- 国際奉仕委員会 : 12月例会にポリオウイルスの根絶のため募金箱をお返ししますので、さらなるご協力をお願いします。
- 出席親睦委員会 : 12/3 忘年例会について  
コロナ禍、今回は会員のみでの開催

■ ■ ■ スマイル ■ ■ ■

- 釜屋 (清原会員、スピーチよろしくお願いします。)
- 原泰 (清原会員、スピーチよろしくお願いします。 平高長距離部、都大路男女アベック出場おめでとうございます。)
- 田中 (清原会員、本日のスピーチよろしくお願い致します。スピーチ楽しみです。)
- 土江 (清原会員のスピーチ、凄く、すごく、スゴク楽しみにしています。)

■ ■ ■ 例会プログラム ■ ■ ■

「自動車の歴史」

清原 正幸 会員



私は、約30年間自動車販売業をしておりますので本日は「自動車の歴史」について話をします。自動車が発明されたのは1769年。日本はまだ江戸時代でした。ニコラ・ジョセフ・キュノーが蒸気で走る自動車を発明しました。軍隊で使われる大砲運搬のために造られました。スピードは10km以下だったと言われた。この車がハンドルを切り損ねて壁に激突して世界初の交通事故を起こした車でもある。また電気自動車の歴史もガソリンエンジン車より古く1823年に開発された。ガソリン自動車は1886年に誕生、日本は明治時代。1891年にフランスのパナール・ルヴァソール社が現在の自動車の基礎と言われる先端エンジン置きクラッチ、トランスミッションを縦一列に配しデフ機構を介して後輪を駆動させるFR方式を採用した車両を市販した。この頃空気入りのタイヤが発明され、ハンドルが円型になり乗り心地や操作性が改善された。その後自動車が大衆化したのがアメリカ人のヘンリー・フォードが造ったT型フォードです。一日に1000台が生産された。自動車の大衆化が進むと様々な高級車が登場し、1906年にはイギリスのロールス・ロイス・シルバーゴースト。アメリカのキャデラックやデューゼンバークなど高級車を貴族や富豪が競って手に入れた。日本では1898年明治31年初めて海外から自動車が入輸入された。日本で製造が始まったのが1904年明治37年岡山市の山羽虎夫が国産第1号を完成させた。最初は乗合自動車の目的で造られた。しかし当時の日本の工業技術はまだ、未熟であったため量産化は成功しなかった。そして第二次世界大戦に突入し、戦時体制が進み軍用トラックの製造が開始され乗用車の開発は中断を余儀なくされることになった。第二次世界大戦後、日本はゼロどころかマイナスからのスタートとなった。当初はGHQから乗用車の生産を禁止されていた。焼け跡を走るのは米軍のジープと大型のアメリカ車だけだった。1949年にやっと生産制限が解除された。トヨタ自動車は独自路線にこだわり1955年に初代クラウンを発表した。同じくしてヨーロッパでは小型車が普及し後世に残る名車を輩出しています。ドイツのフォルクスワーゲン・ビートル、イギリスのMINIなど現在でも世界中で人気です。

日本は1950年代半ばから高度経済成長に入る。1958年のスバル360は爆発的な人気になった。1964年に東京オリンピック、1970年大阪万博の特需のありさらに経済発展をとげた。1966年に初代カローラが誕生し、その後カローラは1968年～2001年まで33年間、国内販売台数1位となるベストセラーカーになった。

1960年代後半には、名車トヨタ2000GT、マツダコスモスポーツ、日産フェアレディZ、といった本格的な国産スポーツカーも誕生した。

自動車の普及とともにさまざまな社会問題が発生しました。1970年には交通事故死亡者が史上最悪になった。また自動車の排気ガスによる大気汚染が社会問題として浮上したのが1968年だった。1973年にはオイルショックが起こり、ガソリン価格が急騰し、自動車の低燃費化が求められた。ここで日本車が技術で示し世界をリードし、同時に日本の小型車がアメリカ市場で販売を伸ばしていった。

1970年代、日本はスーパーカーブームになり、ランボルギーニカウンタックやフェラーリ512BB、ロータスヨーロッパなどが人気を博した。

1980年代は日本車の黄金期。バブル景気に沸いた1989年には、トヨタセルシオ、日産スカイラインGT-R、ユーノスロードスター。その前年1988年には日産シーマが誕生し「シーマ現象」なる言葉が生まれた。1990年にはホンダNSXが登場。人が車を選ぶのではなく、車が人を選ぶとゆうことで話題になった。

バブル経済が終わった1991年からは新車販売台数も伸びなかった。この頃から自動車に求めるものも多様化してセダンタイプからミニバン又は軽自動車に移行していった。

そして新しい時代へ向けて1997年トヨタが初の量産ハイブリッド車プリウスを発表。

今現在も順調に販売台数を伸ばしている。同時に今後もEV車も含め「エコカー」が市場の中心になることは間違いない。その中でも、今後飛躍的に販売台数を伸ばすのがイーロン・マスク率いるテスラの車だと言われています。時価総額でもトヨタを超え業界NO.1になりました。テスラの参入によりEV化が進むと言われていますがあと15年はハイブリッド車中心で進むものと考えられる。しっかり先を読み、時代に合った対応をしなければいけない。

